



みなみ お ぐにちようりつみなみ お ぐにちようがっこう
南小国町立南小国中学校
れい わ ねん がつ にち きん
令和2年5月22日(金) No6
ぶん せき は さまたかふみ
文責 狭間卓史



「再スタート」

本町の各学校では来月からの完全学校再開に向けて、今週から段階的に取り組みを進めているところです。本校でも再開するにあたっては、様々なハードルを越える必要があります、その一つが三密（密閉・密集・密接）を避ける工夫をするということでした。

具体的な方法として、教室内の人数を調整しましたが、一教室の最大人数を一年生の18人を基準とし、三年生と二年生については二教室に分けることにしました。学級数が増えたことにより本校職員の一週間あたりの授業時数は大幅に増えることになってしまいましたが、何よりも授業が出来ることを喜びに感じてもらえる職員の前向きな気持ちに助けられています。

その他、換気のために各教室の廊下側の窓は全て撤去したこと、生徒が下校した後の学校施設の消毒等、出来ることを出来るところから取り組んでいるところです。

来週からは給食も再開しますが、全職員で知恵を出し合い、日々改善しながら取り組んでいきます。

また、昨日（21日）の放課後は、3年生全員を対象としたオンライン授業（英語）にも取り組みましたが、このことについては次号であらためてご紹介します。

これから生徒はもちろんのこと私たち大人も身につけていくべき力としては、新型コロナウイルスの感染拡大を防いでいくために「新しい生活様式」を身につけていくことと、体調管理の力を向上させていくことです。そのためにも毎朝の検温の習慣化や生活リズムを整えること等への各ご家庭でのお声かけにご協力願います。



【座席間ゆっтарいの教室】



【窓を撤去し換気も良好】



【オンライン授業の様子】

「T-Kマスク」できました

本校清流寮の担当職員の三人には、先週からマスク制作に取り組んでもらっています。本校生徒がマスクの準備が間に合わなかった場合に備えてのことです。TKとはTriangle「K」のことで、吉良(Kira)、木山(Kiyama)、城戸(Kido)の三人の名前の頭文字からきています。名付け親は田中教諭です。名前もデザインも付け心地も素敵なマスクが完成しました。



【マスク制作の様子】